

各 位

会社名 株式会社 A C K グループ  
 代表者名 代表取締役社長 野 崎 秀 則  
 ( J A S D A Q ・ コード番号 2 4 9 8 )  
 問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦  
 T E L 0 3 - 6 3 1 1 - 6 6 4 1

## 「中期経営計画 ACKG2013（強化）」に関するお知らせ

当社グループは、平成 24 年 9 月 21 日に策定いたしました中期経営計画「ACKG2013」（2013 年 9 月期～2015 年 9 月期）の強化を、下記のとおりとりまとめましたのでお知らせいたします。

記

### 1. これまでの経緯

ACKG2013 は、2020 年のビジョン・スローガンとして、『社会インフラ創造企業（自らが社会を創造する担い手となる）』を掲げ、2020 年の目標を達成すべく、2013 年 9 月期にスタートし、2 年が経過いたしました。基本方針である「強みの活用」、「事業創造」、「育成と連携」に基づく施策の推進により、現在、順調に進捗しております。

この ACKG2013 で定めた 2020 年の目標の達成をより一層確実なものとするため、ACKG2013 を強化いたします。

### 2. ACKG2013 の強化方針

「個の強化」：重点化事業の投資を強化し、ナンバーワン・オンリーワンの技術・サービスを開発して、一層の重点化事業拡大を図ります。

「連携の強化」：グループ内外の連携を強化し、総合化・複合化する事業にワンストップで技術・サービスを提供します。

「3 軸市場の競争力強化」：国内公共・国内民間・海外の 3 軸市場の特性を踏まえ、グループとしての総合力を発揮して、競争力を高めます。

### 3. ACKG2013 の強化目標

- ・ ACKG2013 で定めた目標に加え、新たに目標を設定いたしました。
- ・ 加えて、施策の充実により、ACKG2013 の目標値を強化いたしました。

項 目		2020年の目標	新規	強化
業績	売上高	500億円以上	—	—
	営業利益	20億円（対売上高4.0%）以上	—	—
重点化事業による事業拡大		重点化事業の売上高を1.5倍増	—	○
人材の 確保・育成	社員数	500人以上増	○	—
	女性社員	100人以上増	○	—
	グローバル人材	200人以上増	—	○
	女性管理職	20人以上増	—	○
	有資格者	（技術士300人、博士40人）以上増	○	—
現地に根ざしたグローバル展開を推進する基盤整備			—	—
基盤整備	グループ連携の促進に繋がる仕組みを構築		—	○

※目標数値は、いずれも第9期〔2014年9月期〕末比を示す。

## 1) 個の強化

- ・これまでに培ったコア技術を元に、重点化事業に一層取り組むため、重点化事業に対する投資を強化します。
- ・重点化事業の推進によってナンバーワン・オンリーワンの技術・サービスを開発すると共に、既往事業へ展開し、技術・サービスの裾野拡大を図ります。

### ■売上高・営業利益

グループ各社の「個の強化」を推進し、2020年のグループ売上高 500 億円以上、グループ営業利益 20 億円（対売上高 4.0%）以上を確実に達成していきます。

### ■重点化事業

4つの個別事業と4つの総合事業に対して、重点化プロジェクトを設定し、重点化事業の売上高 1.5 倍増を図ります。

※重点化事業に3ヵ年で15億円を投資

## 2) 連携の強化

- ・サービス提供のあらゆる局面でグループのリソースを活用・融合させるため、グループ内外の連携と個の強化に繋がる「人材確保・育成」と「基盤整備」を強化し、総合化・複合化する社会ニーズに対応していきます。

### ■人材の確保・育成

- ・人材獲得の強化、人材育成の仕組み改善によって、社員数 500 人以上増、女性社員 100 人以上増を目指します。

※有資格者（技術士 300 人、博士 40 人）以上増を目標

- ・女性管理職の確保・育成により、性別を問わず多様な感性を活かすことが出来る企業を目指します。

※女性管理職 20 人以上増を目標

- ・グローバルな雇用促進・海外研修制度の充実により、現地に根ざしたグローバル展開を推進します。

※グローバル人材 200 人以上増を目標

（目標数値は、いずれも対第9期〔2014年9月期〕末比）

※3ヵ年で5億円を投資

### ■基盤整備

- ・現地法人の設立によるグローバルネットワークの構築やグループ内外の連携を推進します。
- ・営業・技術・マネジメントなどに関するグループ連携の仕組みを構築し、グループ連携の促進を図ります。

※3ヵ年で10億円を投資

## 3) 3軸市場の競争力強化

- ・グループ内の柔軟な人材活用、技術の有効活用など、グループ各社のブランドとリソースを相互に活用できる基盤整備を進めます。
- ・3軸市場が、それぞれ自律的な成長と3軸市場間の連携を図り、グループとしての総合力を発揮します。

### ■国内公共

インフラ保全や防災・減災による安全・安心、地域のコンパクト化や社会インフラの最大活用による地域活性化など、地域課題の解決に取り組んでいきます。

### ■国内民間

海外・国内公共で得た技術・ノウハウを駆使し、ワンストップで技術・サービスを提供していきます。

### ■海外

ODA（政府開発援助）や国内事業で培われた本邦技術や経験豊かな人材を海外事業に活用し、より高度で総合的なサービスをグローバルビジネスに展開していきます。

## 4. 2015年9月期の組織体制

3軸市場の競争力強化に向け、市場毎に組織を集約します。

### 【国内公共】

- ・(株)ACK グループの子会社である(株)オリエンタルコンサルタンツを、グループの国内公共市場におけるリーディングカンパニーとする。
- ・(株)ACK グループの子会社である(株)中央設計技術研究所を、(株)オリエンタルコンサルタンツの子会社とし、上下水道、廃棄物分野の高度化、総合化、全国展開を推進する。
- ・(株)ACK グループの子会社である(株)エイテックを、専門技術に特化した子会社と位置付け、空間情報技術、点検・検査・診断・計測技術などの高度化を推進する。

### 【国内民間】

- ・(株)ACK グループの子会社である(株)アサノ大成基礎エンジニアリングを、グループの国内民間市場におけるリーディングカンパニーとする。

### 【海外】

- ・(株)オリエンタルコンサルタンツの海外事業部門を(株)ACK グループの子会社として独立（分社化）した(株)オリエンタルコンサルタンツグローバルを、グループの海外市場におけるリーディングカンパニーとする。

### 【グループ支援等】

- ・(株)ACK グループの子会社である(株)リサーチアンドソリューションを、グループ支援サービスを提供する子会社と位置付け、当該サービスの高度化、総合化を推進するとともに、ベンチャー事業の開拓を推進する。

以 上